



## 屋久島環境文化村中核施設開館20周年記念事業

環境文化村センターと環境文化研修センターがオープンして、今年で20周年を迎えます。

これを記念して、解剖学者の養老孟司さんをお招きしました。

養老さんを囲んで、MBCの中村さんと当財団の小野寺が屋久島の今とこれからについて語り合います。

日時：平成28年4月26日（火）18:00～20:00

場所：屋久島環境文化村センター

- 第一部 18:00～
  - ・開館20周年の歩み（映像）
  - ・「屋久島CO2フリーの島づくり」の取組
- 第二部 18:30～
  - ・公開鼎談

### 『養老孟司 屋久島を語る』

養老孟司（東京大学名誉教授、大正大学客員教授）

中村耕治（南日本放送代表取締役社長）

小野寺浩（屋久島環境文化財団理事長）

- ・事前の申し込みは必要ありません
- ・来場者多数の場合は入場できないことがありますので、早めにお越しください。



養老孟司氏

中村耕治氏

小野寺浩氏

### 屋久島 自然・文化体験セミナー募集のご案内

#### 『まるごと屋久島研修講座』

主に屋久島に初めて赴任された方々を対象に「屋久島のみどころ」を里編、森編に分けてご紹介します。

『里編』 4月17日（日）

時間：9時00分～16時30分

参加費：1,500円（昼食代・保険料・研修費等）

内容：島内一周、集落散策など

定員：20名（先着順）締切4月12日（火）

集合場所：研修センター

#### 『まるごと屋久島研修講座』

主に屋久島に初めて赴任された方々を対象に「屋久島のみどころ」を里編、森編に分けてご紹介します。

『森編』 4月23日（土）

時間：9時00分～16時00分

参加費：1,500円（昼食代・保険料・研修費等）

内容：自然観察

定員：20名（先着順）締切4月18日（月）

集合場所：研修センター

※お問い合わせ・お申込

研修センター TEL 46-2900

### 屋久島ファンクラブ島内会員向け交流会開催

屋久島ファンクラブ会員の皆様へ、日頃より当財団の運営にご協力いただき、感謝申し上げます。この度、屋久島ファンクラブ島内会員の皆様を対象に、下記のとおり交流会を開催しますので、皆様のご参加をお待ちしております。

実施日 平成28年5月8日（日）

対象 屋久島ファンクラブ島内会員

定員 先着20名

料金 無料

内容 里めぐり（春牧集落）

研修センター「7000年の森」散策

集合場所 安房体育館（駐車場）

お問い合わせ・お申込 文化村センター

TEL 42-2900 担当：藤山

休館日 村センター 4/19（火）

研修センター 4/18（月）



～インストラクター便り～ 魚の性<sup>せい</sup>転換<sup>てんかん</sup> 研修センター 小西 祐伸

「性<sup>せい</sup>転換<sup>てんかん</sup>」と聞くと、手術やホルモン治療<sup>ちりょう</sup>と言った大がかりな医療<sup>いりょう</sup>処<sup>しょ</sup>置<sup>ち</sup>が必要<sup>いんしょう</sup>な印象<sup>いんしょう</sup>があると思います。ところが、魚の中には種類によっては成長や環境の変化にともない、性<sup>せい</sup>転換<sup>てんかん</sup>する種類があります。こんな魚が屋久島の海でも見ることができます。そのうち2種をご紹介します。

まずはクマノミです。イソギンチャクの周りで暮らす彼らは、生まれたときはオスでもメスでもありません。群<sup>むれ</sup>で1番大きいものがメスとなり、2番目に大きいものがオスになります。クマノミの群からメスがなくなると、それまで2番目に大きかったオスがメスに、3番目に大きかったオスでもメスでもなかったものがオスになります。

次にホンソメワケベラです。この魚は大きな魚の口に入ってお掃除する習<sup>しゅうせい</sup>性<sup>せい</sup>があります。この魚はオスからメスにも、メスからオスにも変わることができます。

なぜ魚は性<sup>せい</sup>転換<sup>てんかん</sup>するのでしょうか。それは自分の子ども残しやすいからです。広い海の中たまたま出会ったペアがオス同士やメス同士であれば子孫は残せません。また、群の中で力の弱いオスは子孫を残せず、メスになって子孫を残したほうが有利です。ただし、環境や魚の社会構造によってどのように性<sup>せい</sup>転換<sup>てんかん</sup>するか決まるので非常に複雑です。

屋久島の綺麗な海で、魚の不思議をのぞいてみませんか？

参考文献：「性<sup>せい</sup>転換<sup>てんかん</sup>する魚たち」『Newton』

2015年10月号,p114,ニュートンプレス

### 屋久島環境文化財団のホームページで 「屋久島ファンクラブ」の加入・更新や グッズ購入、寄付ができるようになりました

屋久島環境文化財団では、この度、財団ホームページにカート機能、クレジット決済機能を導入しました。

- ①「屋久島ファンクラブ」の加入・更新
- ②オリジナル書籍・グッズの購入
- ③財団への寄付

が、4月4日（月）からホームページ上で出来るようになりました。

- 財団ホームページ <http://www.yakushima.or.jp/>
- 次のクレジットカードがご利用可能です。  
イオンカード、VISA、Master Card、JCB、  
Diners Club、AMERICAN EXPRESS
- ゆうちょ銀行、鹿児島銀行への口座振替払いもご利用いただけます。
- 屋久島環境文化村センター及び屋久島環境文化研修センターではクレジットカードはご利用いただけません。

### 屋久島を想う108

アテンダント 佐倉敦子



屋久島環境文化村センターで働き始めてから4月で1年が経ちます。

小さいころに家族で移住し、屋久島で育った私にとって、ここはただただ生活の場であり、島全体にあまり興味がなく、豊かな自然もただの風景の一部でした。

この1年で屋久島についてたくさんを知ることができ、実際に登山に行ったり、季節毎の植物に目を向けたり、島に興味を持つようになりました。屋久島を知り興味を持ち魅力を感じるようになり、さらに、時間をかけて来て下さる方々に関わる事で、私は屋久島が好きになり、ここで暮らすことが楽しくなりました。

まだ知らないこともたくさんあります。

豊かな自然や温かな人たちがつくる文化に触れ、屋久島をもっと知り、もっと好きになりたいです。

4月に入り宮之浦川の桜も満開をむかえ、屋久島も春の陽気が漂っています。この春、屋久島環境文化財団では、鹿児島県職員2名、屋久島町職員1名、受付職員2名を新規職員として出迎えました。新規職員の紹介については、来月号により紹介いたします。